埼玉新聞に掲載されました！

「第 77 回国民体育大会」（9月19日　宇都宮市）

内村に栄冠

少年男子B400自

成年男子400メドレーR 埼玉が準優勝

いちご一会とちぎ国体 2022

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」は19日、宇都宮市の日環アリーナ栃木で会期前競技の競泳などを行い、競泳の少年男子B400㍍自由形の内村弥路（三芳藤久保中）が3分58秒97で栄冠に輝いた。

成年男子400㍍メドレーリレーは埼玉（内藤、松村、赤羽根、瀬戸）が3分35秒72で準優勝。少年男子A400㍍自由形は宮木宏悦（春日部共栄高）が3分55秒53で3位。少年女子A400㍍メドレーリレーの埼玉（水野、加藤、会沢、関根）も4分6秒94で3位に入った。

埼玉は、水泳の競技別天皇杯（男女総合）で194・5点の4位。皇后杯（女子）は94・5点で7位だった。

（記録は埼玉関係）

競泳

（日環アリーナ栃木）

【成年男子】

▽50㍍自由形予選 ⑳坂本樹（新潟医療福祉大）23秒30＝落選

▽400㍍メドレーリレー予選 ①埼玉（内藤、松村、赤羽根、瀬戸）3分37秒02＝決勝進出

▽同決勝 ②埼玉（内藤、松村、赤羽根、瀬戸）3分35秒72

【成年女子】

▽50㍍自由形予選 ⑩田嶋玲奈（明大）25秒95＝落選

▽400㍍メドレーリレー予選 ④埼玉（酒井、宮坂、田嶋、篠塚）4分7秒10＝決勝進出

▽同決勝 ④埼玉（酒井、宮坂、田嶋、篠塚）4分5秒49

【少年男子A】

▽50㍍自由形予選 ⑩長岡豪（栄東高）23秒92＝落選

▽400㍍自由形予選 ②宮木宏悦（春日部共栄高）3分56秒37＝決勝進出

▽同決勝 ③宮木宏悦（春日部共栄高）3分55秒53

▽400㍍メドレーリレー予選 ④埼玉（入江、小沢、川野、長岡）3分45秒77＝決勝進出

▽同決勝 ⑥埼玉（入江、小沢、川野、長岡）3分44秒81

【少年男子B】

▽400㍍自由形予選 ①内村弥路（三芳藤久保中）4分0秒15＝決勝進出

▽同決勝 ①内村弥路（三芳藤久保中）3分58秒97

▽100㍍平泳ぎ予選 ⑬矢野拓都（春日部共栄中）1分4秒84＝落選

【少年女子A】

▽50㍍自由形予選 ⑯角野優莉（春日部共栄高）27秒00＝落選

▽400㍍メドレーリレー予選 ③埼玉（水野、加藤、会沢、関根）4分9秒42＝決勝進出

▽同決勝 ③埼玉（水野、加藤、会沢、関根）4分6秒94

【少年女子B】

▽100㍍平泳ぎ予選 ⑩山田澄（春日部共栄高）1分11秒91＝落選

▽200㍍個人メドレー予選 ⑥中島紗希（武南高）2分19秒52＝決勝進出

▽同決勝 ⑦中島紗希（武南高）2分19秒36

【少年女子共通】

▽400㍍自由形予選 ⑤古江花帆（本庄東高）4分21秒93＝決勝進出

▽同決勝 ⑥古江花帆（本庄東高）4分20秒75

勝負かけた残り100㍍

少年男子B400㍍自由形決勝 3分58秒97で栄冠に輝いた内村弥路（渋谷雅也撮影）

少年男子B400㍍自由形は、中学3年生の内村が3分58秒97で栄冠に輝いた。レース直後のインタビューでは表情が硬かったものの、表彰台に上がると、「優勝が実感できた」と満面の笑みを見せた。

決勝進出の8人中、6人が一つ学年が上の高校生。「自分にはスピードがない。どこで仕掛けようかな」と内村は優勝を狙うために考えた。「残り50㍍で仕掛けるとみんながスパートをかける。だから残り100㍍から上げる」。この作戦が功を奏した。

最初の100㍍は、58秒94の8位と出遅れたが焦りはなかった。「みんなのレースプランと違うから惑わされないようにした」。自分のペースを守り2位に位置を上げると、勝負の残り100㍍に入る。「体力が心配だったけど、最後は一気に仕掛けた」と残り50㍍付近で先頭に立ち、唯一の3分台で栄冠を手にした。

将来の夢を「五輪で金メダル」と語るスイマーは来年から高校生。「まずはインターハイ（全国高校総体）で活躍したい」と目を輝かせながら目標を掲げた。

（渋谷雅也）

優勝ならず悔しさも

成年男子400㍍メドレーリレー決勝 3分35秒72で2位に入った埼玉の（左から）内藤、松村、赤羽根、瀬戸

成年男子400㍍メドレーリレーの埼玉は、3分35秒72を記録して新潟と同着で2位になった。

第1泳者内藤は「（瀬戸）大也さんにいい形でつなぎたい」と100㍍を54秒77で2位に位置して第2泳者松村へ。松村は「調子がいい中ではないが、がむしゃらにやるしかない」と先頭の東京に食らいつきながら順位をキープ。だが、「自分の弱いところが出てしまった」と第3泳者赤羽根が後半でペースを落としてしまい4位で第4泳者瀬戸に託した。「一番年上（28歳）でしっかり練習してきた。もっていくしかない」と得意の自由形で前を追い上げた。

2位という結果に満足した様子はない埼玉の選手たち。瀬戸は「優勝を狙っていたし、ベストが出なかった」と語り、松村は「気持ちを切り替えてトレーニングしていきたい」と先を見据えた。

埼玉新聞社